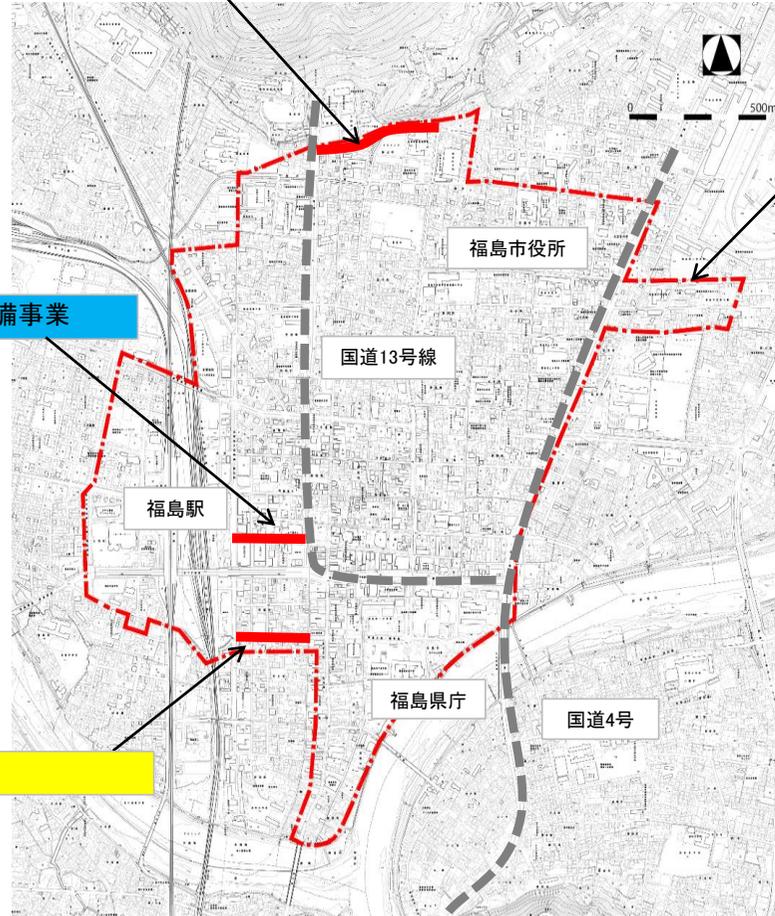


(参考様式3) 参考図面 (市街地整備)

計画の名称	福島市中心市街地地区 (第2期)	交付対象	福島県福島市
計画の期間	平成27年度 ~ 平成32年度 (6年間)		

太平寺岡部線(御山町工区)



福島市中心市街地地区(第2期)

福島駅前通りリニューアル整備事業

福島市中心市街地地区事業効果分析

福島駅周辺自転車駐車場整備促進事業

杉妻町早稲町線

都市構造評価分析事業

凡 例	
<span style="background-color: yellow; border: 1px solid black; display: inline-block; width: 20px; height: 10px;"></span>	基幹事業
<span style="background-color: blue; border: 1px solid black; display: inline-block; width: 20px; height: 10px;"></span>	効果促進事業

整備後イメージ



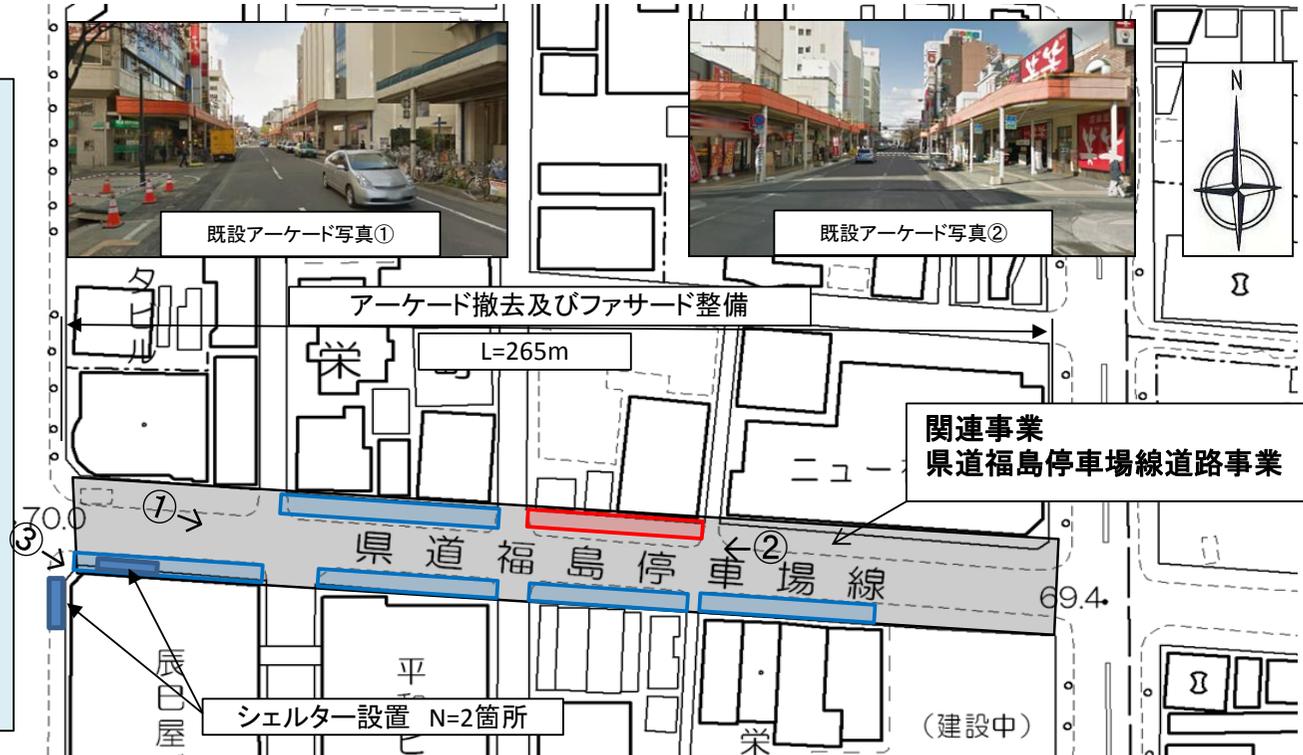
地下歩道出入口現況写真③



既設アーケード写真①



既設アーケード写真②



【事業の主旨】

本事業において老朽化が著しいアーケードを撤去するとともに、地下歩道出入口へのシェルターを設置し、統一感のある良好な街なみ景観の形成を図るファサード整備をすることで、福島駅前通りのイメージ刷新と魅力の向上による賑わい創出を図るものである。

【事業の概要】

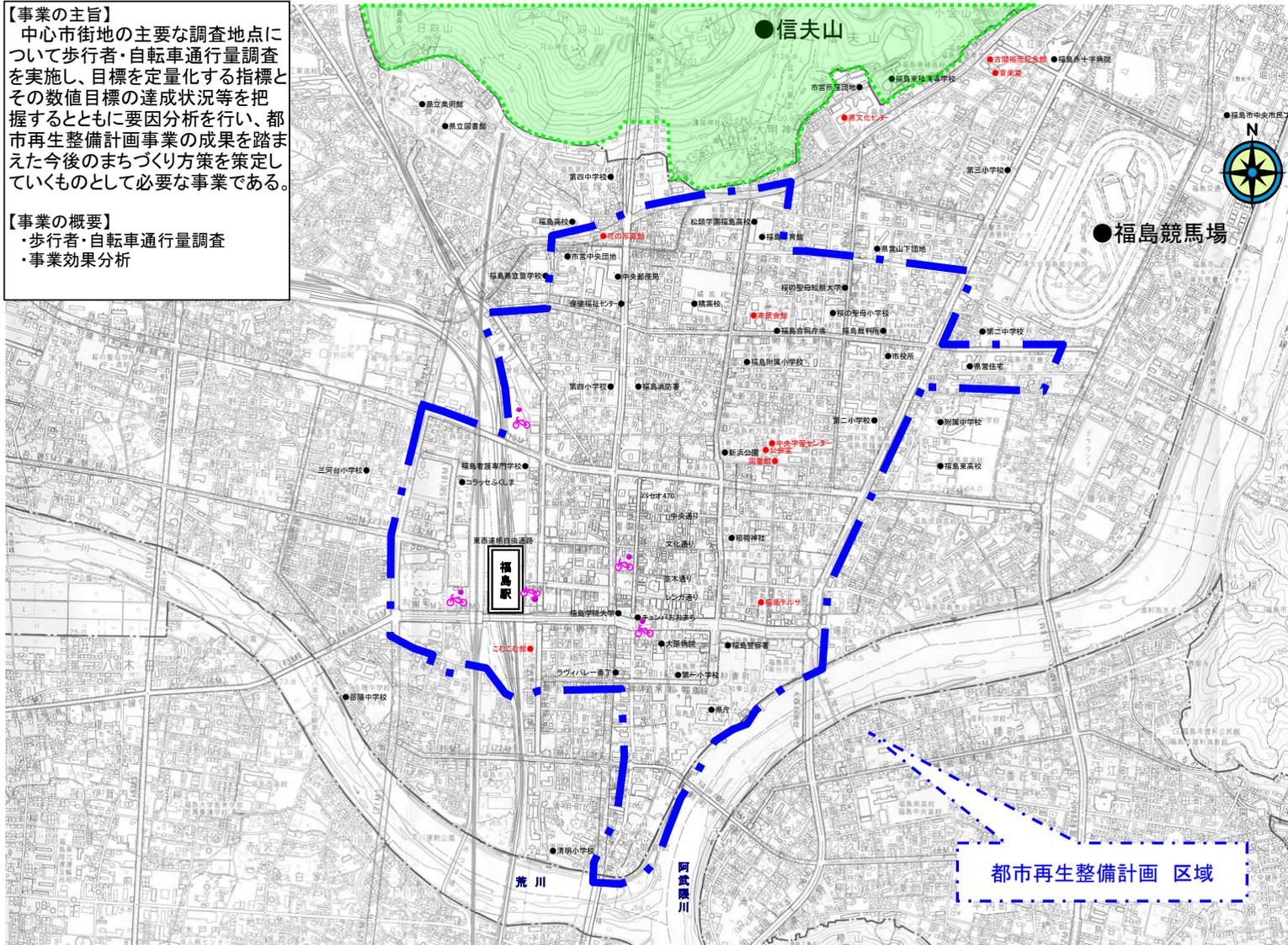
- ・アーケード撤去
- ・街路灯の設置

凡例

- 効果促進事業
- 他事業  
(都市再構築型優良建築物等整備事業)

**【事業の主旨】**  
中心市街地の主要な調査地点について歩行者・自転車通行量調査を実施し、目標を定量化する指標とその数値目標の達成状況等を把握するとともに要因分析を行い、都市再生整備計画事業の成果を踏まえた今後のまちづくり方を策定していくものとして必要な事業である。

- 【事業の概要】**
- ・歩行者・自転車通行量調査
  - ・事業効果分析



# 社会資本総合整備計画

# 効果促進事業

# 福島駅周辺自転車駐車場整備促進事業

## 【事業の主旨】

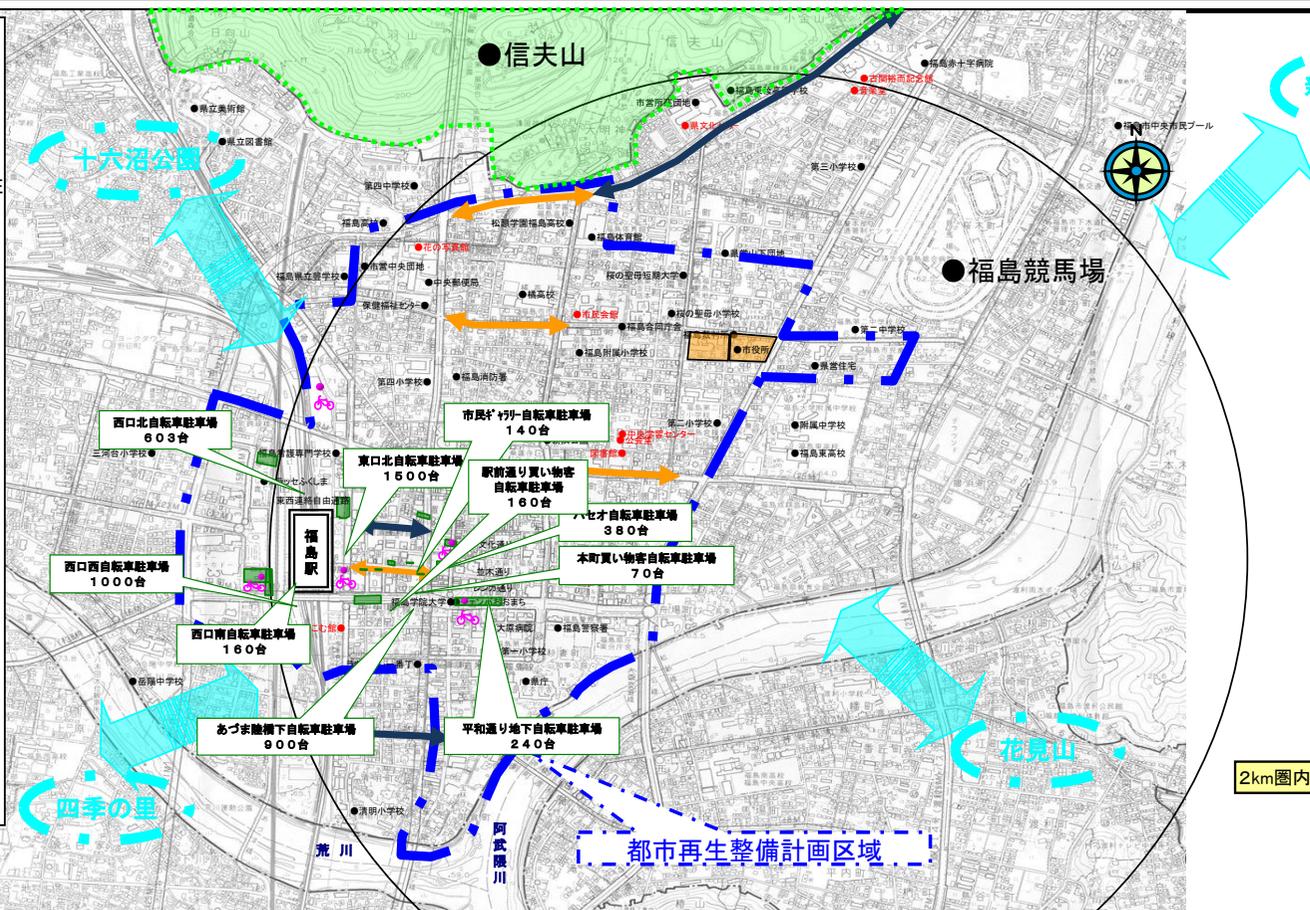
福島市の市街地は、平坦な地形的な特徴から、自転車利用に適した都市構造となっており、端末交通手段として機動性の高い自転車が市民等の足として定着している現状である。

そのような中、福島駅近隣の自転車駐車場については、常に利用率が高く駐輪に支障をきたしている状態である。また、バイクが混在する駐輪場も多いことから課題等を整理し、駐輪需要の適正化を検討することにより、利用者が安全に安心して利用できる恒久的な施設を整備する必要がある。

また、平成25年12月の道路交通法の改正などにより、自転車利用環境も変化しており、自転車関連の事故等が増加傾向にあるため、利用実態の把握と課題等を整理し、自転車ネットワーク計画の策定等を図り、利便性と回遊性を向上させ、活性化に寄与する。

## 【事業の概要】

- 駐輪場整備計画の策定
  - ・利用実態の把握、課題の整理
  - ・駐輪需要の適正化検討
  - ・料金施策の検討
- 駐輪場整備方針の策定
- 自転車ネットワーク計画の策定
  - ・利用実態の把握、課題の整理
  - ・自転車ネットワーク路線の選定
  - ・整備形態の選定



2km圏内

- ↔ 街路事業等整備済み 区間
- ↔ 街路事業等整備予定 区間

🚲 レンタサイクル貸出所(既設)

【都市構造の評価分析について】

将来の人口減少、少子高齢化に対応する持続可能な都市経営を図るため、以下の項目について都市構造の評価分析を行う。

- 本市の概況整理
- 関連計画の把握
- 基本データ等の整理
- 本市の都市構造の特性等の整理
- 居住及び都市機能の立地動向と課題の分析
- 公共交通ネットワークデータの作成
- 公共交通の利便性の評価
- 都市構造の評価

